

一般選抜 後期

試験問題

数 学

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を表にして、この試験問題冊子を開かないでください。
2. 試験問題冊子は、8ページ（この表紙は含めません）あります。
3. 試験終了後、解答冊子は、すべて回収しますので持ち帰らないでください。
4. 試験終了後、この試験問題冊子は、持ち帰ることができます。
5. 問題の内容に関する質問にはお答えできません。

解答記入上の注意

問題文の中の の部分に適切な選択肢の番号を入れなさい。

【I】 設問(1)～(3)について、空所に入る最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから1つずつ選び、その番号を記しなさい。

(1) $x=2\sqrt{3}+1$ のとき、 x の整数部分は であり、 $|x-5|+|4-x|=\input{2}$ である。

の選択肢

- ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 5

の選択肢

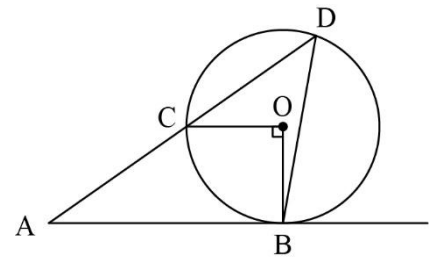
- ① 1 ② 3 ③ $2\sqrt{3}$ ④ $4\sqrt{3}$

(2) 1つのさいころを投げて、出た目の数と同じ枚数だけ 50 円硬貨を受け取るゲームがある。このゲームに参加して受け取る金額の期待値は 円である。

の選択肢

- ① 175 ② 250 ③ 325 ④ 400

(3) 右の図のように、円 O があり、直線 AB は点 B で円に接している。点 C, D は、点 A を通る直線と円との交点である。 $\angle BAC=35^\circ$ 、 $\angle BOC=90^\circ$ であるとき、 $\angle ABC=\input{4}^\circ$ 、 $\angle OBD=\input{5}^\circ$ である。



の選択肢

- ① 30 ② 45 ③ 50 ④ 60

の選択肢

- ① 10 ② 15 ③ 20 ④ 25

【Ⅱ】 設問(1)～(3)について、空所に入る最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから1つずつ選び、その番号を記しなさい。

a, b を定数とする。 x の2次関数 $y=x^2+ax+b$ のグラフを C とする。 C は点(2, 9)を通る。 C の頂点を P とし、 C 上にあり、 x 座標が a である点を Q とする。

(1) b を a を用いて表すと、 $b=\boxed{1}$ であり、点 P の y 座標を a を用いて表すと、 $\boxed{2}$ である。

$\boxed{1}$ の選択肢

- ① $-2a-5$ ② $-2a+5$ ③ $2a-5$ ④ $2a+5$

$\boxed{2}$ の選択肢

- ① $-\frac{1}{4}a^2-2a-5$ ② $-\frac{1}{4}a^2-2a+5$ ③ $-\frac{1}{2}a^2-2a-5$ ④ $-\frac{1}{2}a^2-2a+5$

(2) 点 P の y 座標を $g(a)$ とすると、 $g(a)$ は $a=\boxed{3}$ のとき、最大値 $\boxed{4}$ をとる。

$\boxed{3}$ の選択肢

- ① -4 ② -2 ③ 2 ④ 4

$\boxed{4}$ の選択肢

- ① 6 ② 7 ③ 8 ④ 9

- (3) C が x 軸と 1 点で接するか, x 軸と共有点をもたないような a の値の範囲は である。
 のとき, 点 Q の y 座標を $h(a)$ とすると, $h(a)$ の最大値は である。

の選択肢

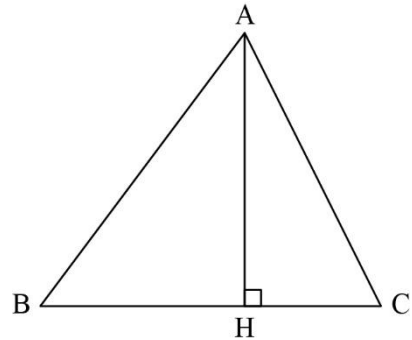
- ① $a \leq -10, 2 \leq a$ ② $a \leq -2, 10 \leq a$ ③ $-10 \leq a \leq 2$ ④ $-2 \leq a \leq 10$

の選択肢

- ① -175 ② 1 ③ 9 ④ 225

【Ⅲ】 設問(1)～(3)について、空所に入る最も適切なものを、それぞれ①～④のうちから1つずつ選び、その番号を記しなさい。

$\triangle ABC$ において、 $AB=BC$ である。点Aから辺BCに垂線AHを下ろすと、点Hは辺BC上にある、2点B、Cとは異なる点であり、 $BH:CH=3:2$ となる。



(1) $\tan \angle ABC = \boxed{1}$, $\cos \angle BCA = \boxed{2}$ である。

$\boxed{1}$ の選択肢

① $\frac{6}{5}$

② $\frac{5}{4}$

③ $\frac{4}{3}$

④ $\frac{3}{2}$

$\boxed{2}$ の選択肢

① $\frac{1}{5}$

② $\frac{1}{4}$

③ $\frac{\sqrt{5}}{5}$

④ $\frac{\sqrt{5}}{4}$

(2) ACを直径とする円と辺ABとの交点のうち、点Aと異なる点をDとする。 $\triangle ABC$ の外接円の半径が $5\sqrt{2}$ のとき、 $AC = \boxed{3}$, $DH = \boxed{4}$ である。

$\boxed{3}$ の選択肢

① $6\sqrt{2}$

② $8\sqrt{2}$

③ $10\sqrt{2}$

④ $12\sqrt{2}$

$\boxed{4}$ の選択肢

① $3\sqrt{2}$

② $\frac{18\sqrt{2}}{5}$

③ $\frac{21\sqrt{2}}{5}$

④ $\frac{24\sqrt{2}}{5}$

- (3) $\triangle ACH$ を直線 AH を軸として回転させ、平面 $ABH \perp$ 平面 ACH となるようにする。このとき、点 C が移動した点を P とすると、 $\cos \angle APB = \boxed{5}$ である。

$\boxed{5}$ の選択肢

① $\frac{\sqrt{65}}{65}$

② $\frac{2\sqrt{65}}{65}$

③ $\frac{4\sqrt{65}}{65}$

④ $\frac{\sqrt{65}}{13}$

【IV】 設問(1), (2)について, 空所に入る最も適切なものを, それぞれ①~④のうちから1つずつ選び, その番号を記しなさい。

袋の中に, 互いに区別できる赤玉3個, 青玉3個, 白玉1個の計7個の玉が入っている。

(1) 袋の中から同時に3個の玉を取り出すとき, 3個の玉の取り出し方は全部で $\boxed{1}$ 通りある。取り出した3個の玉の色がすべて同じである確率は $\boxed{2}$, 取り出した3個の玉の色がすべて違う色である確率は $\boxed{3}$ である。また, 取り出した3個の玉の色が2色である確率は $\boxed{4}$ である。

$\boxed{1}$ の選択肢

- ① 3 ② 35 ③ 210 ④ 840

$\boxed{2}$ の選択肢

- ① $\frac{1}{210}$ ② $\frac{1}{105}$ ③ $\frac{1}{35}$ ④ $\frac{2}{35}$

$\boxed{3}$ の選択肢

- ① $\frac{3}{70}$ ② $\frac{2}{35}$ ③ $\frac{3}{35}$ ④ $\frac{9}{35}$

$\boxed{4}$ の選択肢

- ① $\frac{4}{35}$ ② $\frac{6}{35}$ ③ $\frac{8}{35}$ ④ $\frac{24}{35}$

(2) 袋の中から玉を1個ずつ、3回続けて取り出す。ただし、取り出した玉は袋の中に戻さないものとする。1回目と2回目に取り出した玉の色が同じであるとき、1回目から3回目までに取り出した玉の色がすべて同じである条件付き確率は $\frac{1}{5}$ である。

$\frac{1}{5}$ の選択肢

① $\frac{1}{35}$

② $\frac{1}{15}$

③ $\frac{1}{5}$

④ $\frac{2}{5}$

設問は以上です。